

淡路沿岸

淡路島は、瀬戸内海国立公園の東部に位置し、瀬戸内海最大の島でわが国では佐渡ヶ島、奄美大島について第3の島です。北は明石海峡をへだてて明石市と、南東は紀淡海峡をはさんで和歌山県と、南西は鳴門海峡をはさんで四国の鳴門市と対しています。

この島は、我が国建国の神話にからむ古い由緒をもち、万葉の昔から、歌や詩にうたわれ、長い伝統をもつ神社や仏閣が多く、今日に至るまで、阪神・四国間の文化・経済の接点の役割を担ってきました。

この淡路島の周囲約210kmの淡路沿岸は、明石海峡に面した最北端の松帆岬、名勝に指定されている慶野松原・鎧崎・門崎・吹上浜・灘水仙郷・由良などの海岸景勝地を有し、美しい眺望、緑豊かな自然、青い海、白い砂浜などの豊かな環境に恵まれ、特に鳴門海峡は、潮の干満のたびにうず潮があらわれ、雄大な景観を作り出しています。また、瀬戸内式気候の温暖寡雨な気候と温泉、海水浴場、公園・遊園地等各種レクリエーション施設があり、例年、海水浴、マリンスポーツ、釣り、観光等に阪神間・四国から多数訪れています。



慶野松原海岸の夕日 (三原郡西淡町)



阿万港海岸 (三原郡南淡町)



小倉海岸 (津名郡北淡町)

淡路島東岸



浦港海岸(津名郡東浦町)

浦港では背後の公園整備と一体となった海浜の整備を平成9年(1997年)に終わりました。また、内田海岸において越波対策として突堤・養浜の整備を推進しています。



田之代海岸(津名郡淡路町)

田之代海岸では、平成12年(2000年)5月に「いきいき・海の子・浜づくり」実施地域に選定され、文部科学省管轄の教育関連施設と連携し、自然体験の場の拡充等、海岸の積極的な活用を図る施策、整備を実施していきます。

淡路島南岸

背後が低地帯である由良港や福良港において、高潮対策事業として、水門の改良や排水施設の整備を進めています。



由良港海岸(洲本市)



福良港海岸(三原郡南淡町)

淡路島西岸



慶野松原海岸(三原郡西淡町)

全域にわたって冬季風浪による海岸の侵食が著しいことから、侵食対策を進めています。

鳥飼海岸では離岸堤の整備を開始し、慶野松原海岸では、県下最長の砂浜の景観を損なうことなく安定させる人工リーフの整備が完成しました。

さらに多賀海岸では、美しく潤いのある「憩えるなぎさ」を創出し、地域の活性化を図るだけでなく、防災拠点としての整備を併せて進めています。